

9. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

期首残高	当期交付額	当期振替額				引当金見返との相殺額	期末残高
		運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計		
-	7,678,501,000	7,079,298,246	182,443,044	-	7,261,741,290	395,485,710	21,274,000

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な使途の明細

① 運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

(事業等のまとまりごとのセグメント)

(単位:円)

区分	運営費交付金収益	運営費交付金の主な使途	
		費用	主な使途
業務達成基準による振替額	安全指導業務等	564,433,923	483,293,684 人件費:483,293,684
	被害者援護業務	4,644,889,286	4,817,430,396 人件費:408,269,798 療護業務委託費:3,402,509,957 業務委託費:53,011,314 その他:953,639,327
	自動車アセスメント 情報提供業務	1,014,255,666	946,282,026 人件費:93,114,165 業務委託費:711,471,989 その他:141,695,872
期間進行基準による振替額	855,719,371	824,497,432	人件費:664,882,520 賃借料:91,690,590 その他:67,924,322
費用進行基準による振替額	-	-	- (費用進行基準を採用した業務は無い)
合計	7,079,298,246	7,071,503,538	

(区分経理によるセグメント)

(単位:円)

区分	運営費交付金収益	運営費交付金の主な使途	
		費用	主な使途
業務達成基準による振替額	貸付業務	487,848,372	462,994,585 人件費:171,903,073 業務委託費:28,769,819 その他:262,321,693
	療護業務	3,721,617,113	3,942,413,872 人件費:35,813,140 療護業務委託費:3,402,509,957 その他:504,090,775
	一般業務	2,014,113,390	1,841,597,649
	指導講習及び 適性診断業務	564,433,923	483,293,684 人件費:483,293,684
	その他の業務	1,449,679,467	1,358,303,965 人件費:293,667,750 業務委託費:735,713,484 その他:328,922,731
期間進行基準による振替額	855,719,371	824,497,432	人件費:664,882,520 賃借料:91,690,590 その他:67,924,322
費用進行基準による振替額	-	-	- (費用進行基準を採用した業務は無い)
合計	7,079,298,246	7,071,503,538	

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な用途の明細  
(事業等のまとまりごとのセグメント)

(単位:円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な用途	振替額	主な用途
安全指導業務等	136,264,205	業務用器具備品:6,871,205 講習用テキスト(棚卸資産):129,393,000	-	-
被害者援護業務	27,705,672	業務用器具備品:27,705,672	-	-
自動車アセスメント 情報提供業務	534,710	業務用器具備品:534,710	-	-
共通	17,938,457	業務用器具備品:17,788,772 その他:149,685	-	-
合計	182,443,044		-	

(区分経理によるセグメント)

(単位:円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な用途	振替額	主な用途
貸付業務	444,400	業務用器具備品:444,400	-	-
療護業務	26,900,340	医療用器具備品:26,900,340	-	-
一般業務	137,159,847		-	
指導講習及び 適性診断業務	136,264,205	業務用器具備品:6,871,205 講習用テキスト(棚卸資産):129,393,000	-	-
その他の業務	895,642	業務用器具備品:895,642	-	-
共通	17,938,457	業務用器具備品:17,788,772 その他:149,685	-	-
合計	182,443,044		-	

(3) 引当金見返との相殺額の明細  
(事業等のまとまりごとのセグメント)

(単位:円)

セグメント	引当金見返との相殺	
	相殺額	主な相殺額の内訳
安全指導業務等	136,123,872	賞与引当金見返:136,123,872
被害者援護業務	39,587,042	賞与引当金見返:39,587,042
自動車アセスメント 情報提供業務	9,028,624	賞与引当金見返:9,028,624
共通	210,746,172	賞与引当金見返:56,255,272 退職給付引当金見返:154,490,900
合計	395,485,710	

(区分経理によるセグメント)

(単位:円)

セグメント	引当金見返との相殺	
	相殺額	主な相殺額の内訳
貸付業務	16,668,228	賞与引当金見返:16,668,228
療護業務	3,472,547	賞与引当金見返:3,472,547
一般業務	164,598,763	
指導講習及び 適性診断業務	136,123,872	賞与引当金見返:136,123,872
その他の業務	28,474,891	賞与引当金見返:28,474,891
共通	210,746,172	賞与引当金見返:56,255,272 退職給付引当金見返:154,490,900
合計	395,485,710	

(4) 運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

運営費交付金債務残高	使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	-
費用進行基準を採用した業務に係る分	- (費用進行基準を採用した業務は無い)
配分留保額	21,274,000 2022年度補正予算に係る事業が翌期になったことから、翌事業年度に21,274,000円を繰り越したものです。繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定です。
計	21,274,000